

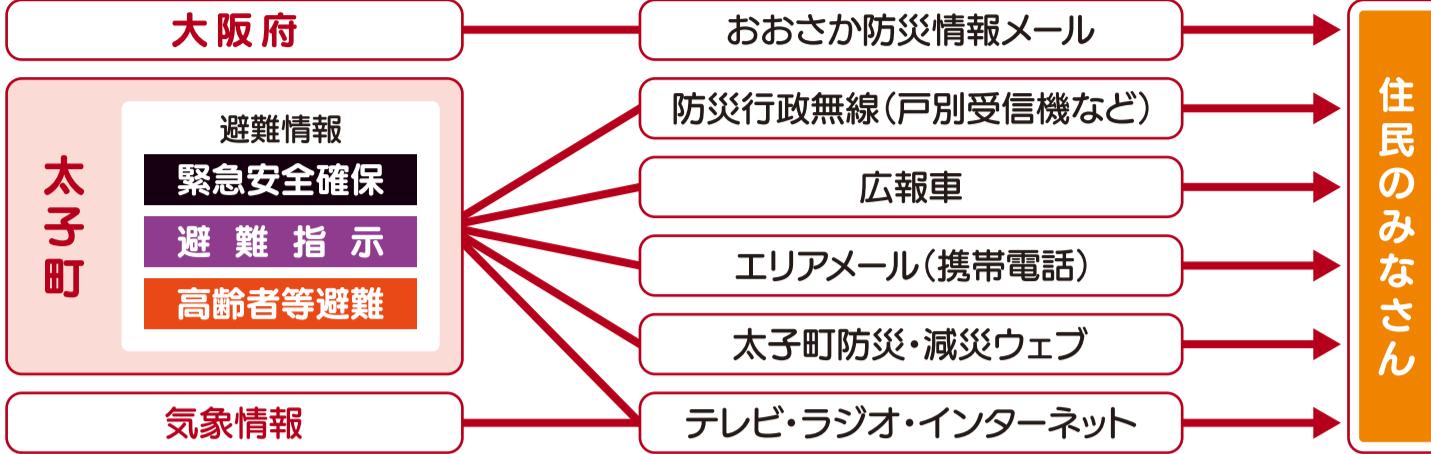
太子町内水氾濫ハザードマップ

保存版 ●取り出しがやすい場所に保管しておきましょう



●情報伝達の経路

大雨などの災害のおそれがある場合は、防災行政無線やテレビ、ラジオ、インターネットから正しい情報を入手して素早く行動しましょう。太子町や大阪府、気象庁などから住民に対する情報が発信されます。



●警戒レベルと住民がとるべき行動

警戒レベルは、防災気象情報や避難情報等に1~5の番号を付すことで、住民がとるべき避難行動を直感的、明確に理解できるようにしたもの。警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとりましょう。

気象状況	警戒レベル	避難情報等(町が発布)	住民がとるべき行動	状況	防災気象情報(気象が発表)
数十年に一度の大雨	5	緊急安全確保	命の危険、直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等。	災害発生または初迫	大雨特別警報
大雨の数時間~2時間程度前	4	避難指示	危険な場所から全員避難 台風などにより豪雨が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了してね。	災害発生のおそれ高い	土砂災害警戒情報
大雨の半日~数時間前	3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたとき、避難準備をしたうえで避難する。	災害発生のおそれあり	大雨警報・洪水警報
大雨の数日~約1日前	2		自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	気象状況悪化	大雨注意警報・洪水注意警報
	1		災害への心構えを高める	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報

発行: 大阪府太子町 まちづくり推進部 地域整備課 〒583-8580 大阪府南河内郡太子町大字山田88番地 TEL.0721-98-0300(代表) 令和7年3月 作成

●インターネットによる情報の入手先

パソコンやスマートフォンを使って、雨量・河川水位情報等の防災情報を確認しましょう。

キキフル(気象庁) https://www.jma.go.jp/bosai/risk/	おおさか防災ネット(大阪府) https://www.osaka-bousai.net/
大阪管区気象台 https://www.jma-net.go.jp/osaka/	太子町防災・減災ウェブ https://www.town.taishi.osaka.jp/kurashi/bosai_gensaiweb/index.html
太子町公式LINE 防災のページから防災情報を取得することができます。また、避難情報などもお届けしています。 	おおさか防災情報メール おおさか防災ネット
緊急速報メール(エアーメール) 緊急地震速報や、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、対象エリア内の携帯電話に一斉に配信するサービスです。 ※詳細は各携帯電話会社のホームページをご覗ください。	大雨・洪水注意報 大雨・洪水警報 大雨特別警報

●緊急時の連絡先

火事・救急 119番 警察 110番

災害に関する連絡先	電話番号
太子町役場	0721-98-0300
大阪府富田林土木事務所	0721-25-1131
富田林保健所	0721-23-2681
富田林警察署	0721-25-1234
大阪南消防局	072-958-0119
NTT(電話の故障)	113
水道 大阪広域水道企業団太子水道センター	0721-98-5536
電気 関西電力送配電株式会社	0800-777-3081
ガス 使いしているガス会社	※

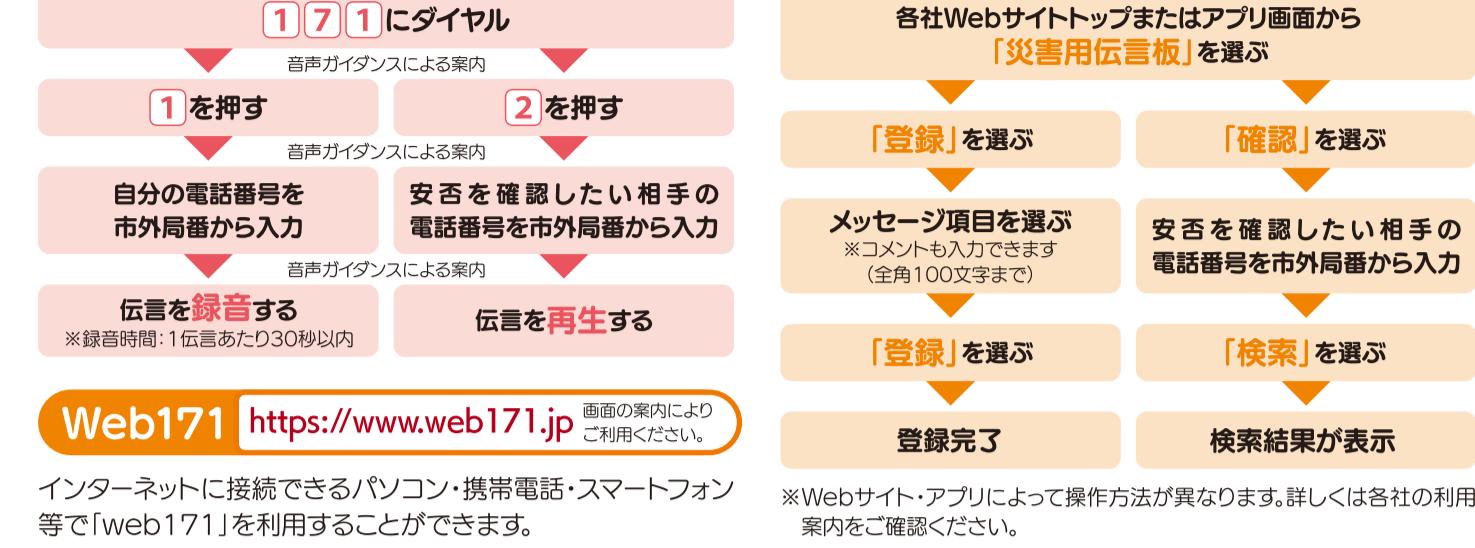
※各家庭で契約しているガス会社とその電話番号を書き込んでおきましょう

●災害時伝言ダイヤルの利用方法

大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されるので、家族や親族、友人・知人の安否確認として活用しましょう。

災害用伝言ダイヤル(固定電話・携帯電話)

災害発生時に、電話を利用して安否情報を登録・確認できる「声の伝言板」です。



*Webサイト・アプリによって操作方法が異なります。詳しくは各社の利用案内をご確認ください。

非常持ち出し品について

いざというときは、ただちに避難しなければなりません。そのようなときに備えて、非常持ち出し品を常備しておきましょう。両手が自由に使えるようにリュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しましょう。

非常持ち出し袋

飲料水
非常食(缶詰、トルト食品など)
携帯電話

日用品など

ボリ袋(ビニール袋)
ウェットティッシュ
携帯ラジオ
懐中電灯
予備電池
携帯電話、スマートフォン
(充電器、モバイルバッテリー)
めがね
コンタクトレンズ(洗浄液含む)
洗面用具(歯ブラシ等)
新聞紙
ラップ

貴重品類

現金(小銭)
マイナーバーカード、免許証、
パスポートなど
(本人確認できるもの)

子どもがいる家庭の備え

ミルク
おむつ
ほほ乳瓶
離乳食
おやつ

女性・妊婦の備え

生理用品
サニタリーショーツ
おりものシート

高齢者・障がい者の備え

大人用紙おむつ
介護食
補聴器
吸水パッド

その他

クリジットカード類
健康保険証
預貯金通帳、印鑑
鍵

災害・安全対策

常備薬(胃薬、かぜ薬など)
包帯、ガーゼ、蚌創膏
傷薬、消毒液
持病のある方の薬

女性

おくすり手帳
ヘルメット、防災ズキン
ハイズル
マスク

高齢者

大人用紙おむつ
介護食
補聴器
吸水パッド

その他の備え

ペット用品(ケージ、リード、ペットフード、トイレ用品)
耳栓

●避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要な物資を整理し、避難の仕方なども話し合っておきましょう。また、災害が発生するおそれがある場合には正確な情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

状況により、すぐやく避難

あらかじめ避難の準備を行い、避難情報の発令や周りの状況に異変があれば、すぐやく避難しましょう。

外出中の家族には連絡メモを残そう

「○○へ避難する」といったようなメモや伝言を残しておくと良いでしょう。

車での避難は早めに

車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難には道路状況に注意をはらいましょう。

できるだけ安全なルートで避難

川沿い、地下歩道などは避け、できるだけ安全で避難しやすい道を選びましょう。

非常持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックなどにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。手軽な食料や飲料水も持っていくべきです。

ペットとの避難

避難者はお客様ではありません。お互いが、助け合い、思いやり、ゆずりあいましょう。

ペットはペットと一緒に避難する同行避難が基本です。

ペットの安全を考えて、事前に避難場所などを考えておきましょう。

浸水後の避難での注意点

歩ける深さ

浸水時に歩ける深さは膝くらいまで。また、水深20cmくらいでも、流れが速い場合は危険を伴うことがあるので注意が必要です。

足元に注意

浸水により足元が見えにくくなることで、道路と側溝や水路等の区別がつかなくなることがあります。長い棒などで深い場所がないか安全を確認しながら歩きましょう。

●要配慮者への支援

要配慮者とは、災害発生時に避難の手助けが必要な人々のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊娠婦、日本語を十分理解できない外国人などが該当します。地域で協力しあいながら、要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

高齢者・病人

- おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。

目の不自由な方

- 声かけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらお、半歩前をゆっくり歩く。

肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。

耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

外国人

- 話すときは、やさしい日本語で話しかける。
- 身振りや手振りで話しかけ、孤立させない。

やさしい日本語で置き換えて伝える

- 避難している 逃げている

●避難時の感染症対策・心得

避難所に入るとき

- 避難所担当者による発熱等の確認完了後、職員の指示で順番に避難所へ入ってください。
- 避難所内では、マスクを着用してください。マスクをお持ちでない場合は、受付に申し出てください。
- 持ち出し品としてマスク・消毒液を準備しておきましょう。

衛生・健康管理

- ふたをしてから流してください。
- 定期的に換湯を行ってください。
- 体調不良の場合は、避難所運営者に申し出てください。
- 持ち出し品としてマスク・消毒液を準備しておきましょう。

密を避ける

密閉空間

換気が悪い 30分に1度は換気を行う。

密集場所

多數が集まる 避難者同士の距離を保つ。

密閉場面

間近で会話を発声 近距離での会話を発声は最低限で。

手洗い、咳エチケットの励行

- 避難所内では必ずマスクを着用してください。マスクのない